

The 111th Congress of
Japan Society of Aesthetic Surgery



第111回 日本美容外科学会

2023年5月11日(木)・12日(金)

グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

会 長 池田 欣生 東京皮膚科・形成外科 総院長

副会長 大橋 昌敬 THE CLINIC 統括指導医

美しい未来を創る

—先人から学び、未来へ繋げる—

美容外科

事前参加登録期間

2023年1月18日(水)～3月29日(水)

<http://jsas111.umin.jp>



事務局

東京皮膚科・形成外科 銀座院
〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8 ラウンドクロス銀座3F

運営
事務局

株式会社サンプラネット メディカルコンベンション事業部
〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-10 住友成泉小石川ビル6F
TEL:03-5940-2614 FAX:03-3942-6396 E-mail:jsas111@sunpla-mcv.com

第111回日本美容外科学会のご案内

会 期：2023年5月11日（木）・12日（金）
会 場：グランキューブ大阪（大阪国際会議場）
テーマ：美しい未来を創る美容外科

この度、第111回日本美容外科学会会長を拝命いたしました、医療法人邦寿会 東京皮膚科・形成外科総院長の池田欣生です。開催に際し、日本美容外科学会理事長の鎌倉達郎先生をはじめ、学会員の皆さま、関係各位よりご指導ご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

第111回日本美容外科学会は2023年5月11日（木）・12日（金）の2日間にわたり、グランキューブ大阪（大阪国際会議場）で開催いたします。会員の皆さまはもちろんのこと、未来に美容医療や関連ビジネスを目指す非会員の方々にも幅広くご参加いただきたいと思います。

今回のテーマは美しい未来を創る美容外科。しかし美しい未来を創るためには過去の先人達の豊富な経験や知識を学ぶことも大切です。過去から現在、現在から美しい未来へ。教科書には載っていない様々な経験や知識を、先輩達から直接学んでいただければと思います。

真崎先生、高田教授、そして理事の皆さまが美容医療に携わるすべての科が垣根を超えて集合するというJSASの原点に立ち返った理念を掲げてご尽力された第101回日本美容外科学会から10年。その後初の大阪開催となり重責を感じておりますが、大阪観光も楽しんでいただければと思います。

僕自身は白壁美容外科のご指導をされていた故田嶋定夫先生、十仁病院のご指導をされていた谷野隆三郎先生に研修医時代から可愛がっていただいたおかげで、最新の美容医療の勉強をさせていただく機会と、海外の著名ドクター達と知り合う環境に恵まれました。

そして故梅澤文彦先生のご支援のもと、Liveサージェリーで技術と経験を共有できる日本アンチエイジング外科学会と医療アートメイク学会を立ち上げています。

そのため今回の学会はLiveサージェリーや動画を主体としたものとして、参加された皆さまがすぐに日々の診療に役立てることができる学会にしたいと考えています。

今回の目玉としてPlastic and reconstructive surgeryを編纂されているRohrich先生とStuzin先生をアメリカからお招きして最新のアメリカの美容医療についてのご講演をお願いしています。お二人はベーカーゴードンシンポジウムも主催しておられるため、会員の皆さまがアメリカに美容医療の勉強をしにいくきっかけになれば幸いです。

皆さま、積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

開催予定プログラム

第111回大会では、美容外科、美容皮膚科、経営学の3軸で演題を組んでおります。

<特別講演>

「若返り研究の世界的な潮流」

座長：池田 欣生（医療法人邦寿会 東京皮膚科・形成外科）

演者：早野 元詞（慶應義塾大学医学部 精神神経科学教室）

<海外招待講演>

「匠のわざ アメリカの美容外科の現状」

座長：吉村浩太郎（自治医科大学 形成外科）

演者：Rod J. Rohrich (Plastic Surgery, Baylor College of Medicine, USA)

James M. Stuzin (Plastic Surgery, University of Miami School of Medicine, USA)

<Liveサージェリー>

「少切開法による 眼瞼下垂」

座長：池田 欣生（医療法人邦寿会 東京皮膚科・形成外科）

演者：柿崎 裕彦（愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科）

「フェイスリフト 速く安全に」

座長：白壁 征夫（サフォクリニック）

牧野 太郎（牧野美容クリニック、牧野皮膚科形成外科内科医院）

演者：伊藤 康平（聖心美容クリニック 東京院）



第111回日本美容外科学会 会長
医療法人邦寿会 東京皮膚科・形成外科
総院長 池田 欣生

＜教育講演＞

「再生医療の未来」

座長：青木 晃（東京皮膚科・形成外科 銀座院）

演者：森下 竜一（大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学）

「身体醜形障害について」

座長：居原田 麗（麗ビューティー皮フ科クリニック）

演者：鍋田 恭孝（青山渋谷メディカルクリニック）

＜シンポジウム＞

「クリラボ」

座長：堀田 和亮（BIANCA CLINIC）

牧野陽二郎（聖心美容クリニック 銀座院）

「下眼瞼手術の未来」

座長：水谷 和則（銀座みゆき通り美容外科）

「鼻の形成」

座長：酒井 直彦（銀座S美容・形成外科クリニック）

室 孝明（ビスポーク クリニック）

「未来の経営のSNS戦略 経営上手なクリニックとSNS集客（光と闇）」

座長：相川 佳之（湘南美容クリニック、SBCメディカルグループ株式会社）

「フィラー治療（ヒアルロン酸・ボトックス）」

座長：岩城佳津美（いわきクリニック IC）

「未来のダイエット」

座長：青木 晃（東京皮膚科・形成外科 銀座院）

「レーザー 高周波治療の未来」

座長：河野 太郎（東海大学医学部外科学系 形成外科学）

「豊胸手術の未来」

座長：大橋 昌敬（ザ・クリニック 東京院）

「美容皮膚科の未来」

座長：渡邊 千春（千春皮フ科クリニック）

「スレッドリフト」

座長：田中亜希子（あきこクリニック）

「骨切りの未来」

座長：渡辺 頼勝（東京警察病院 形成外科・美容外科）

「上眼瞼の未来」

座長：吉澤 秀和（NEW FACE AESTHETIC CLINIC）

「匠の技—わたしの究極のこだわり」（ビデオシンポジウム）

座長：廣比 利次（医療法人社団リッツ美容外科）

「患者満足度と施術者の満足度を両方上げる 未来の医療脱毛」

座長：有川 公三（有川スキンクリニック）

「ボディー コントゥアリングの未来」

座長：大橋 昌敬（ザ・クリニック 東京院）

「フィラー治療 トラブルシューティング こんな時どうする？（ヒアルロン酸・ボトックス）」

座長：今泉 明子（医療法人社団青泉会 今泉スキンクリニック）

「再生医療セミナー」

座長：吉村浩太郎（自治医科大学 形成外科）

「アンチエイジング外科学会 修正手術セッション」

座長：酒井 成身（新宿美容外科・歯科）

「医療アートメイク学会 セッション」

座長：富田 祥一（がん・感染症センター都立駒込病院 形成再建外科）

◆事前参加 登録のご案内（予定）

本会事前参加登録は2023年1月18日（水）～3月29日（水）を予定いたしております。



2023 年
1月1日(日)
第035号

一般社団法人 日本美容外科学会
〒143-0023
東京都大田区山王3-37-13
e-mail: info@jsas.or.jp



日本美容外科学会新聞

JAPAN SOCIETY OF AESTHETIC SURGERY
JAPAN FOUNDATION OF AESTHETIC MEDICINE

日本美容外科学会
公式新聞

今月号の
主なお知らせ

新年のご挨拶
第111回日本美容外科学会

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、良き新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス（COVID-19）が世界中に猛威を振るって3年目となりました。オミクロンなどの変異を繰り返しながらも2022年1月のピークアウト後、感染者数は世界的には減少傾向にあります。一方で日本は7月以降、感染者数が増加傾向にあり、新型コロナ感染の既往による能動免疫の差に原因があるのではないかと試算もあります。海外ではマスクなしの生活に戻ってきていますが、几帳面な日本人はマスク生活がそのまま日常になるのではないかとも思える傾向が見られます。

さて、3年間に及ぶコロナ禍でJSASの学会は第108回は残念ながら中止となりまぼろしの学会となってしまいましたが、第109回は酒井直彦学会長、第110回は田中亜希子学会長の企画力と英断により、盛會に終わることができました。

第110回JSAS学会は、緊急事態宣言発令の可能性が否定できない状況下で、The Okura Tokyoにおいて、学会史上最多の1,483名に会場に集っていただき、会場が満席となり立ち見が会場外まであふれるほどの盛況を博し、美容外科や美容医療への関心の高さを改めて認識することができました。

また、多くの出展いただいた協賛企業の皆様のおかげで、海外の学会さんからの華やかで魅力的な展示会場になりましたし、学会運営事務局スタッフの皆様の円滑な運営により、無事閉会することができました。この場を借りて、改めて深く御礼申し上げます。

第111回日本美容外科学会（JSAS）は2023年5月11日（木）・12日（金）にグランキューブ大阪（大阪国際会議場）にて池田欣生学会長のもと開催されます。皆様方のご参加、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

さて、美容外科・美容医療業界は、日本のみならず世界的な傾向として、コロナ禍によるダメージは一時的で、その後は復調傾向で推移しているというISAPSの統計が示されています。特に、顔面領域の治療はマスク着用の習慣が後押しをして、増加しているという声が多数聞かれます。また、韓国などで治療を受ける方々が渡航を足止めされ、国内での治療が増加した一方、渡航規制が徐々に解除され、コロナ禍以前の状態に戻っていくのも時間の問題かもしれません。

一方で、美容外科・美容医療に従事することを希望する若手医師が増加していることや新規開院が増加していることも私たちの業界が活況である証拠と言えますが、JSASは学会として、年1回の学会集会のみならず、美容外科・美容医療に関する情報や技術を提供する機会を増やすことで、学会員様はもとより、日本全体の業界のレベルアップに貢献したいと考えています。また、各業者様と連携し、医療機器や製剤などの明確な情報や安全性情報を提供できるシステムを構築する予定です。

本年も皆様にとって実りある素晴らしい年になりますように祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



日本美容外科学会
理事長 鎌倉 達郎

2023 年度専門医試験および専門医更新の案内

専門医試験の申込みは3月31日締切（試験日は5月12日予定）

詳しくは学会HP（<http://www.jsas.or.jp/contents/rules.html>）専門医制度規則及び細則をご参照の上、申請書をダウンロード、記入の上、必要書類一式を学会事務局宛てメール添付にてお申し込みください。詳しい日程や会場は学会HP（<http://www.jsas.or.jp/>）をご参照ください。同時に審査料6万円を3月31日までに個人名が判るようにして次の学会口座にお振り込み願います。

みずほ銀行 品川支店（店番195）
普通預金 口座番号1481676
口座名 一般社団法人 日本美容外科学会

今年、専門医更新期限に達する会員は申請書類一式を事務局にメール（e-mail: info@jsas.or.jp）または郵送にて3月31日必着にて送付する必要があります。

専門医更新書類はHP（http://www.jsas.or.jp/g_document/koushin.pdf）からダウンロードしてください。詳しい規則は学会HP（<http://www.jsas.or.jp/contents/rules.html>）をご確認ください。その他ご不明な点は学会事務局までメール（e-mail: info@jsas.or.jp）にてお問い合わせください。